

白山市発達相談センター
学齢期・青年期講演会

子どもの**吃音** (きつおん) の
基礎知識と支援

対象

- ★吃音のある子どもの保護者
やご家族
- ★吃音のある子どもの支援者
- ★吃音に関心のある方

日時

令和8年
8月17日(月)
13:30-15:00

講師



小林 宏明氏

金沢大学人間社会研究域
学校教育系 教授

吃音の研究者、支援者、
当事者である小林先生に、
子どもの吃音の正しい
知識と支援について
お話いただきます。

場所

**白山市福祉
ふれあいセンター**

白山市倉光八丁目16番地1

**申込
必要**

**定員
100名**

【吃音とは?】

吃音(きつおん、どもり)は、話し言葉が滑らかに出不い発話障害のひとつです。
単に「滑らかに話せない(非流暢:ひりゅうちょう)」と言ってもいろいろな症状があり、
吃音に特徴的な非流暢は、以下の3つです。

- 音のくりかえし(連発)、例:「か、か、からす」
- 引き伸ばし(伸発)、例:「か——らす」
- ことばを出せずに間があいてしまう(難発、ブロック)、例:「……からす」

上記のような話し方が、発話の流暢さ(滑らかさ・リズムカルな流れ)を著しく乱すほど頻繁
にみられる場合に、吃音と定義されています。

吃音は幼児期(2~5歳)に発症することが多く、うまく話せる時期と話しにくい時期があり、
7~8割くらいは自然に直りますが、残りの2~3割は症状が固定化すると言われています。

【国立リハビリテーションセンターホームページより一部抜粋】

申し込みはこちらから



当日取材が入り、講演会の様子が新聞、テレビ等で報道される場合があります。ご了承下さい。

主催・問い合わせ先

白山市発達相談センター

〒924-0865 白山市倉光八丁目16番地1

白山手取川ジオパーク イメージキャラクター
「ゆきママとしずくちゃん」

076-276-8819

参加申込書

※申込〆切 8/11 (火)

令和8年8月17日(月)開催

学齢期・青年期講演会「子どもの吃音の基礎知識と支援」

申し込み方法 以下の3つの方法のいずれかでお申し込み下さい。

①二次元コードから申し込む



②FAXで申し込む(下記の様式に記入してFAXしてください)

白山市発達相談センター

FAX:076-276-6291

ふりがな	
氏名	
住所	
電話番号	※万が一、中止となる場合はご連絡しますので必ずご記入ください。
所属	<u>下記より当てはまるものに〇をつけてください。</u> 1. ご家族 2. 支援者(職種:) 3. 一般
	<u>講演会は何で知りましたか?(〇をつけてください)</u> 1. 広報はくさん 2. 白山市LINE 3. チラシ 4. その他()

③電話で申し込む(上記様式の内容をお伝え下さい)

白山市発達相談センター

電話 : 076-276-8819